

## 1. 平成21年度決算の特徴

### (1) 決算額

清瀬市一般会計の平成21年度決算は、歳入総額は278億284万円、歳出総額は270億1,330万円で、歳入歳出差引額は7億8,954万円となり、翌年度に繰越すべき財源を差引いた実質収支は6億9,329万円(前年度実質収支5億3,884万円)、実質収支比率は5.0%(前年度4.0%)となりました。

歳入では、市税が前年度に比べ1億4,228万円の減額となった他、利子割交付金などの税連動交付金が景気の低迷により前年度を下回りましたが、地方交付税は前年度よりも7,579万円の増額となりました。また、定額給付金や地域活性化・生活対策事業などの前年度からの繰越明許費や普通建設事業の財源となった地方債が増加したことなどにより、歳入総額では24億2,414万円の大幅な増額となりました。

一方、歳出は、地域活性化経済危機対策臨時交付金などの経済対策や旧都立清瀬東高等学校用地の取得、清瀬市民センター再整備工事、小中学校校舎地震補強工事などの普通建設事業費及び近年の経済状況の悪化を受けて、扶助費などが大幅に増加したことから、前年度より歳出総額で34億3,639万円増額しました。

### (2) 実質単年度収支

平成21年度の形式収支は、7億8,954万円となりましたが、翌年度に繰越すべき財源を控除した後の実質収支は6億9,329万円となりました。また、前年度の収支と積立金等を加減した実質単年度収支は2億6,747万円(前年度▲1億5,453万円)の黒字となりました。

#### 実質収支及び単年度収支

(単位:百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実質収支	486	694	1,160	709	539	693
単年度収支	▲49	208	466	▲451	▲170	154
積立金	407	72	0	150	41	535
繰上償還額	0	0	0	0	2	0
積立金取崩額	70	0	0	0	28	422
実質単年度収支	288	280	466	▲301	▲155	267

## 2. 平成21年度の主な事業

### 経済対策関係

- 地域活性化・生活対策事業(青色回転灯搭載車購入、プレミアム商品券発行助成、農産物直売所設置補助、下宿市民センター・保育園・学童・学校施設改修等)  
※H20からの繰越明許費
- 定額給付金の給付事業 ※H20からの繰越明許費
- 子育て応援特別手当事業 ※H20からの繰越明許費
- 緊急雇用創出事業(図書クリーニング、公園清掃、樹木剪定、市税等収納対策)
- 地域活性化・経済危機対策事業( DV被害者 臨時生活給付金、樹木剪定 老人いこいの家・保育園・学童・健康相談所・図書館・博物館施設改修 農機具購入助成、学校情報通信備品購入、市道維持補修 等)
- 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業(松山・野塩市民センター自動ドア改修、小中学校校扇風機設置・プール改修、橋梁塗装、公園改修等) ※H22への繰越明許費
- 地域活性化・公共投資臨時交付金事業(旧都立清瀬東高校跡地購入、小中学校校舎地震補強事業に充当)

### 総務費関係

- 清瀬市民センター再整備工事
- 旧都立清瀬東高校施設改修工事

- 滞納管理オートシステム導入
- 清瀬都市開発株式会社への追加出資
- 衆議院議員選挙・都議会議員選挙
- 第七小学校区で円卓会議開催

#### 民生費関係

- きよせ保育園増築整備費助成
- ホームビジター派遣事業・緊急サポートネットワーク事業実施
- 子どもの発達支援・交流センター『とことこ』運営実施
- 住宅手当緊急特別措置事業
- 第十小学校学童クラブ新設
- 国際宇宙ステーション交流イベント実施
- 放課後子ども教室『まなべー』の拡充
- きよせ信愛地域包括支援センター開始
- 認定子ども園開始(きよせ・ゆりかご 幼稚園)

#### 衛生費関係

- 女性特有のがん検診推進事業の実施(乳がん、子宮頸がん)
- 妊婦健康診査の検診回数が増(5回から14回)
- 成人歯科健康診査事業費
- 新型インフルエンザワクチン接種費用助成
- ノーレジ袋・マイバック推進運動の実施
- 環境フェアの開催
- 太陽光発電機器設置助成

#### 農林商工費関係

- 魅力ある都市農業育成対策事業(パイプハウス29棟、鉄骨ハウス1棟、暖房機2機)
- きよせ産野菜種ブランド化検討(ベーターキャロット・霜あてほうれん草)
- ひまわりフェスティバル実施
- 生分解性マルチ購入助成
- 新・元気を出せ!商店街事業(ふれあいどーり商店街のカラー舗装改修)
- 消費者教育推進事業の充実

#### 土木費関係

- 旧都立清瀬東高等学校跡地購入
- 道路整備事業費(舗装打換9路線)
- ペDESTリアンデッキ改修
- 地下駐輪場運営費(出入口にゲートシステム設置)
- 高速道路橋剥落対策工事(旭が丘橋、はけ橋)
- 緑地保全事業(清瀬の植物誌作成・生垣助成)
- 市道0209号線道路用地購入(車道5.5m 歩道2.0m)
- 台田の杜開放
- 公共下水道耐震化工事実施
- きよせ川まつりの実施

#### 消防費

- 第三分団消防ポンプ自動車購入
- 家具転倒防止器具助成

## 教育費関係

- 小中学校校舎耐震化工事(第三・第四・清明小学校、清瀬・第二中学校)
- 小中学校校舎耐震化実施設計(清瀬・第六・第七小学校、第三・第五中学校)
- 第三小学校校舎改築実施設計
- 第十小学校校庭芝生化工事
- 学力向上推進事業の拡充(清瀬教師塾開催、読書活動指導員小学校全校配置)
- 児童生徒用机・椅子の計画的な取替え
- 小中学校理科備品の整備
- 小中学校給食調理備品の整備
- オリンピックムーブメント共同推進事業
- 博物館特別展(清瀬村誕生から120周年記念展等)開催
- 石田波郷没後40年俳句大会の開催
- 下清戸集会所及び第三分団器具置場の整備
- 下宿市民プール改修工事

## 3. 市財政の状況

### (1) 市税収入の状況

平成21年度は、長引く景気低迷の影響により、個人市民税が前年度よりも7,201万円の減、法人市民税が前年度よりも5,139万円の減となっています。固定資産税でも、前年度に対して497万円の減となり、また、たばこ税は売上げ本数が年々減少しており、前年度よりも1,442万円の減となっております。

こうしたことから、市税収入全体では前年度よりも1億4,228万円の大幅な減となっています。現在の日本の景気は回復傾向にあるとされるものの、企業の雇用促進には結びついておらず、また賃金の引上げも望めない現状から、平成22年度・23年度は更に市税収入が減少することが予想されます。

なお、市税徴収率につきましては、滞納管理オートシステムを導入し、新たな収納促進を図ったところですが、景気低迷の影響もあり前年度の96.5%から0.3ポイント減の96.2%となりましたが、26市中4番目と依然として高い徴収率となっています。

### 市税収入の推移

(単位:百万円、%)

	9年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
市税収入総額	9,009	8,339	8,595	9,469	9,399	9,257
対前年度増減額	—	361	256	874	▲ 70	▲ 142
対前年度増減率	—	4.5	3.1	10.2	▲ 0.7	▲ 1.5

## (2) 経常一般財源と経常経費充当一般財源の推移

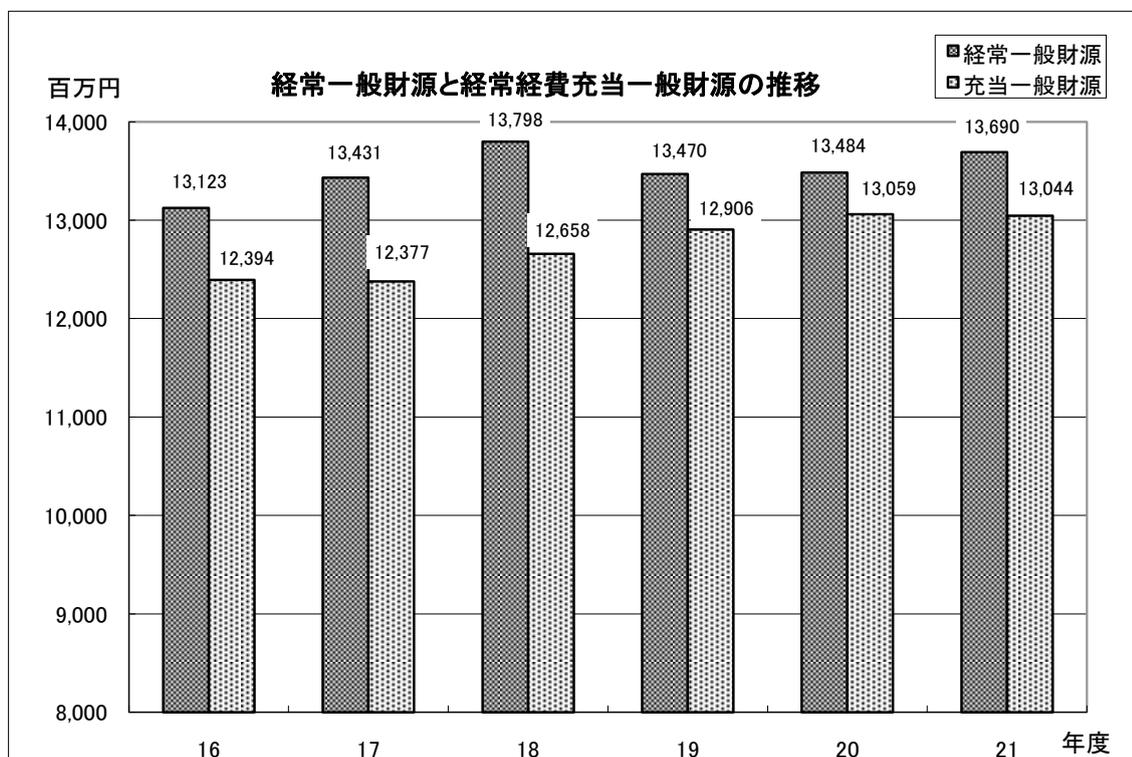
地方交付税や地方消費税交付金が増加したものの、その他の経常一般財源である市税や自動車取得税交付金などが景気低迷による影響からそれぞれ減額となりましたが、臨時財政対策債が3億5,400万円と大きく増加したことにより、経常一般財源(経常的かつ用途が特定されない歳入)は、前年度と比べ2億574万円の増加となりました。

一方、毎年度経常的に支出する経費の財源として充当される経常経費充当一般財源は、1,538万円減しています。これは、生活保護や自立支援の扶助費などがそれぞれ増となったものの、補助費等では常備消防都委託費において都支出金(総合交付金)を増額充当したことによる減(1億1,757万円)、公債費で3,376万円、物件費で1,656万円、繰出金で2,381万円など、それぞれ減となったためです。

### 経常一般財源と経常経費充当一般財源の推移

(単位:百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
経常一般財源	市 税	7,292	7,631	7,908	8,765	8,700	8,558
	地 方 譲 与 税	263	387	623	145	141	133
	利 子 割 交 付 金	78	71	76	105	85	67
	自動車取得税交付金	154	165	173	152	141	68
	地 方 交 付 税	3,031	3,115	3,049	2,691	2,848	2,920
	そ の 他	2,305	2,062	1,969	1,612	1,569	1,944
	合 計	13,123	13,431	13,798	13,470	13,484	13,690
充当一般財源	人 件 費	4,691	4,656	4,587	4,560	4,522	4,558
	扶 助 費	1,540	1,548	1,697	1,746	1,873	2,014
	公 債 費	1,896	1,805	1,879	1,967	1,993	1,959
	物 件 費	1,539	1,582	1,620	1,568	1,430	1,413
	補 助 費 等	1,644	1,663	1,664	1,640	1,830	1,712
	そ の 他	1,084	1,123	1,211	1,425	1,411	1,388
	合 計	12,394	12,377	12,658	12,906	13,059	13,044
差引額	729	1,054	1,140	564	425	646	



### (3) 財政の弾力性を示す経常収支比率

経常収支比率は、地方税、普通交付税、地方譲与税等の毎年度経常的に収入される経常一般財源に対し、人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に使われた一般財源(経常経費充当一般財源)がどの程度あるかを示し、その団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般的には70～80%程度が適正水準とされています。平成21年度は、地方交付税と臨時財政対策債の増により経常一般財源が増加し、一方、経常経費充当一般財源は常備消防都委託費への総合交付金増額充当や公債費の減により微減したことにより、経常収支比率は前年度と比べ1.5ポイント改善した95.3%となりました。

また、26市の平均や類似団体と比較して清瀬市の財政状況を見てみると、義務的経費のうち扶助費の比率は生活保護被保護率同様、依然として高くなっていますが、行財政改革の取組みにより、人件費、公債費は若干、前年度を下回っています。

現在の景気低迷による影響は平成23年度以降も引き続き、市税などに影を落とすことは避けられず、一方で、小中学校校舎大規模改修工事、市役所をはじめとする公共施設の耐震化や改修、東京国体に向けた施設整備など多額の財源を要する課題が多くあることから、引き続き健全財政に努めていかなければなりません。

#### 経常収支比率の比較(26市平均・類似団体)

(単位:%)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
清瀬市	94.4	92.2	91.7	95.8	96.8	95.3
26市平均	91.3	89.1	88.6	91.4	94.3	93.2
類似団体	93.0	90.9	91.9	94.0	93.9	—

#### 市民一人当たりの経常経費充当一般財源の推移

(単位:円、%)

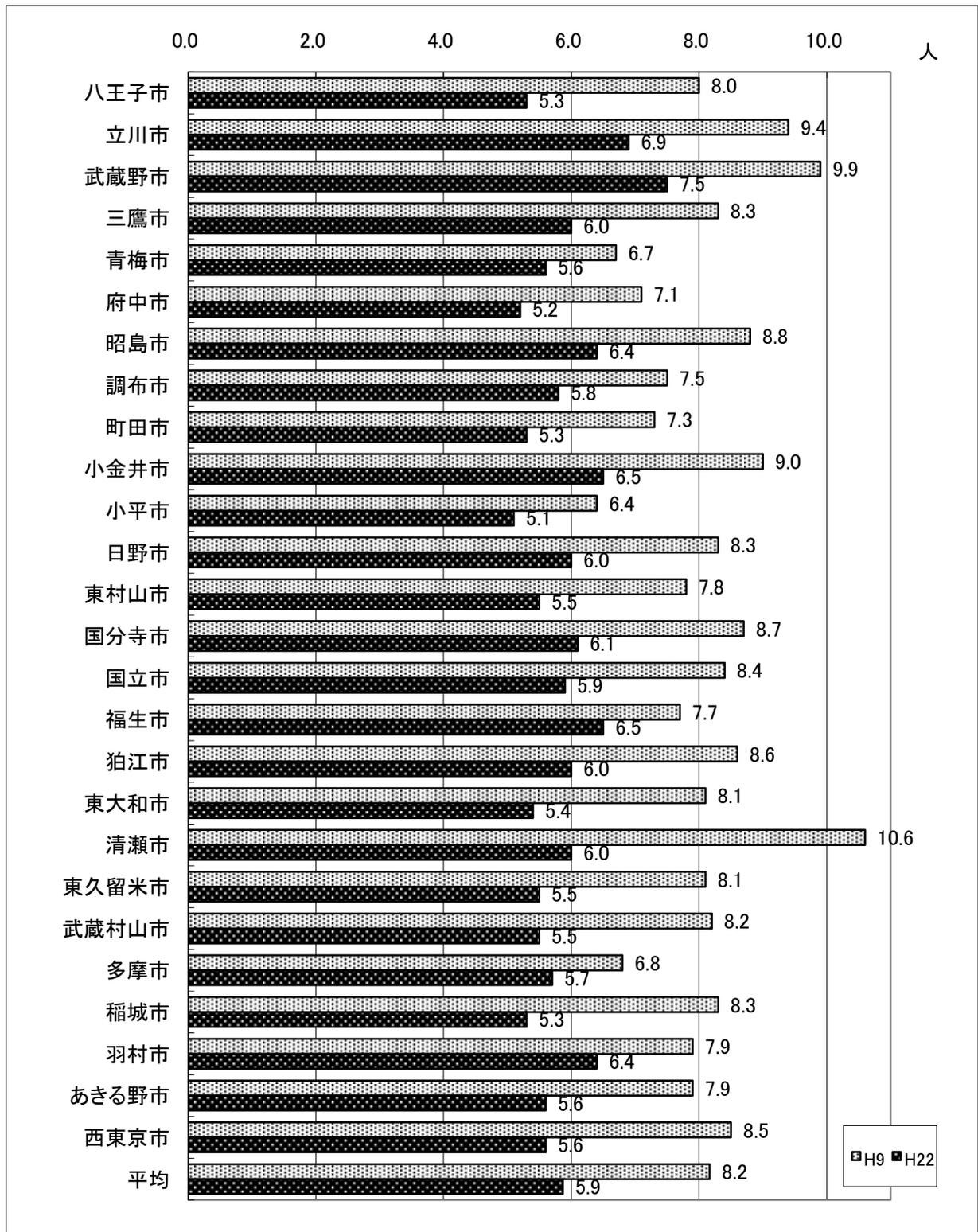
		平成20年度			平成21年度			対前年度増減		
		経常経費充当一般財源	経常収支比率		経常経費充当一般財源	経常収支比率		経常経費充当一般財源	経常収支比率	
			減税補てん債等を含めた比率	減税補てん債等を除いた比率		減税補てん債等を含めた比率	減税補てん債等を除いた比率		補てん債等含	補てん債等除
人件費	清瀬市	62,362	33.5	35.2	62,669	33.3	35.9	307	▲0.2	0.7
	26市平均	55,593	29.2	30.0	56,202	28.7	30.3	609	▲0.5	0.3
扶助費	清瀬市	25,828	13.9	14.6	27,695	14.7	15.9	1,867	0.8	1.3
	26市平均	21,613	11.3	11.6	22,657	11.6	12.3	1,044	0.3	0.7
公債費	清瀬市	27,488	14.8	15.5	26,938	14.3	15.4	▲550	▲0.5	▲0.1
	26市平均	23,520	12.3	12.7	23,473	12.1	12.8	▲47	▲0.2	0.1
義務的経費計	清瀬市	115,678	62.2	65.3	117,302	62.3	67.2	1,624	0.1	1.9
	26市平均	100,726	52.8	54.3	102,332	52.4	55.4	1,606	▲0.4	1.1
物件費	清瀬市	19,719	10.6	11.1	19,429	10.3	11.1	▲290	▲0.3	0.0
	26市平均	31,735	16.6	17.1	31,942	16.0	16.9	207	▲0.6	▲0.2
維持補修費	清瀬市	344	0.2	0.2	279	0.1	0.2	▲65	▲0.1	0.0
	26市平均	2,115	1.1	1.1	1,735	0.9	0.9	▲380	▲0.2	▲0.2
補助費等	清瀬市	25,239	13.6	14.2	23,544	12.5	13.5	▲1,695	▲1.1	▲0.7
	26市平均	24,537	12.9	13.2	25,452	12.9	13.6	915	0.0	0.4
その他繰出金等	清瀬市	19,130	10.3	10.8	18,780	10.1	10.8	▲350	▲0.2	0.0
	26市平均	20,647	10.9	11.2	21,467	11.0	11.6	820	0.1	0.4
合計	清瀬市	180,109	96.8	101.7	179,334	95.3	102.7	▲775	▲1.5	1.0
	26市平均	179,761	94.3	96.9	182,928	93.2	98.4	3,167	▲1.1	1.5
経常一般財源	清瀬市	177,158	—	—	174,564	—	—	▲2,594	—	—
	26市平均	158,521	—	—	186,828	—	—	28,307	—	—
臨時債等を含めた経常一般財源		185,971	—	—	188,217	—	—	2,246	—	—

※ 減税補てん債等は、減税補てん債、臨時財政対策債及び減収補てん債特例分を表したものです。

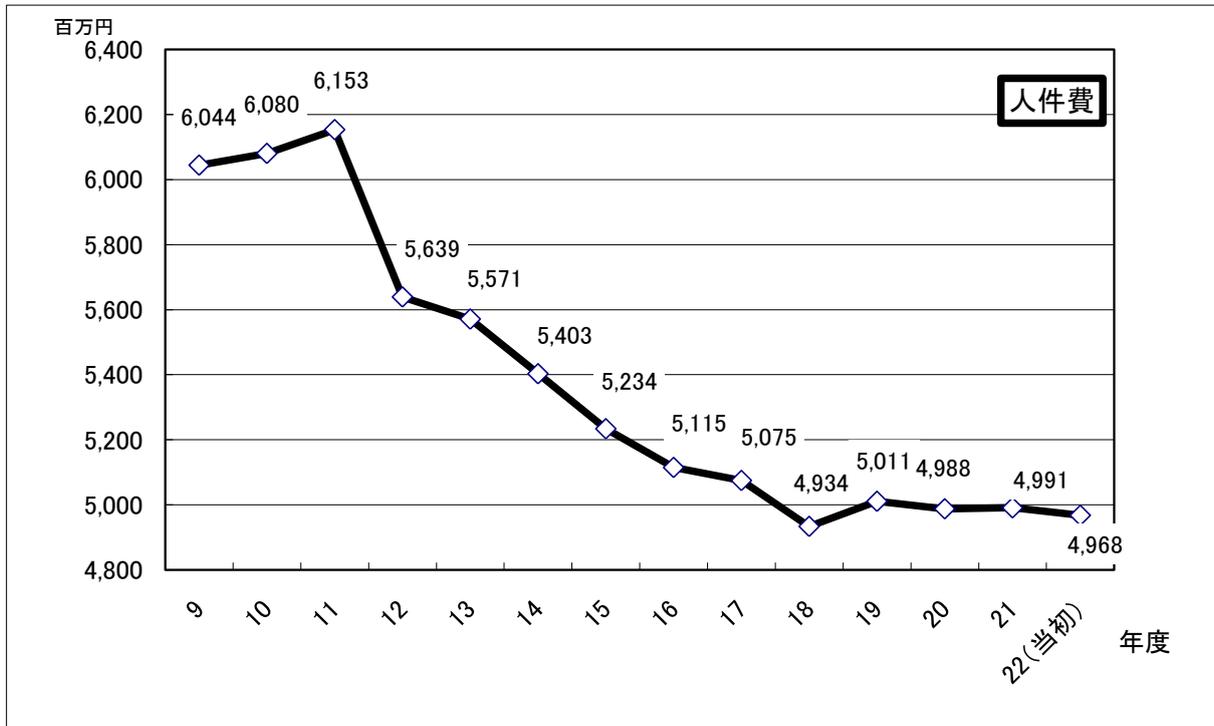
#### (4) 職員数削減の取り組み

職員数は平成9年4月1日現在708人(人口千人当たりの職員数10.6人)でしたが、職員定員計画の着実な推進により平成22年4月1日現在では434人(人口千人当たり職員数6.0人)となりました。職員数については、その時々の方策や地域の特殊性など一概に比較することはできませんが、清瀬市の人口千人当たりの職員数は26市平均(5.9人)に近づいてきました。

市民千人当たりの職員数の比較  
(平成9年、平成22年)

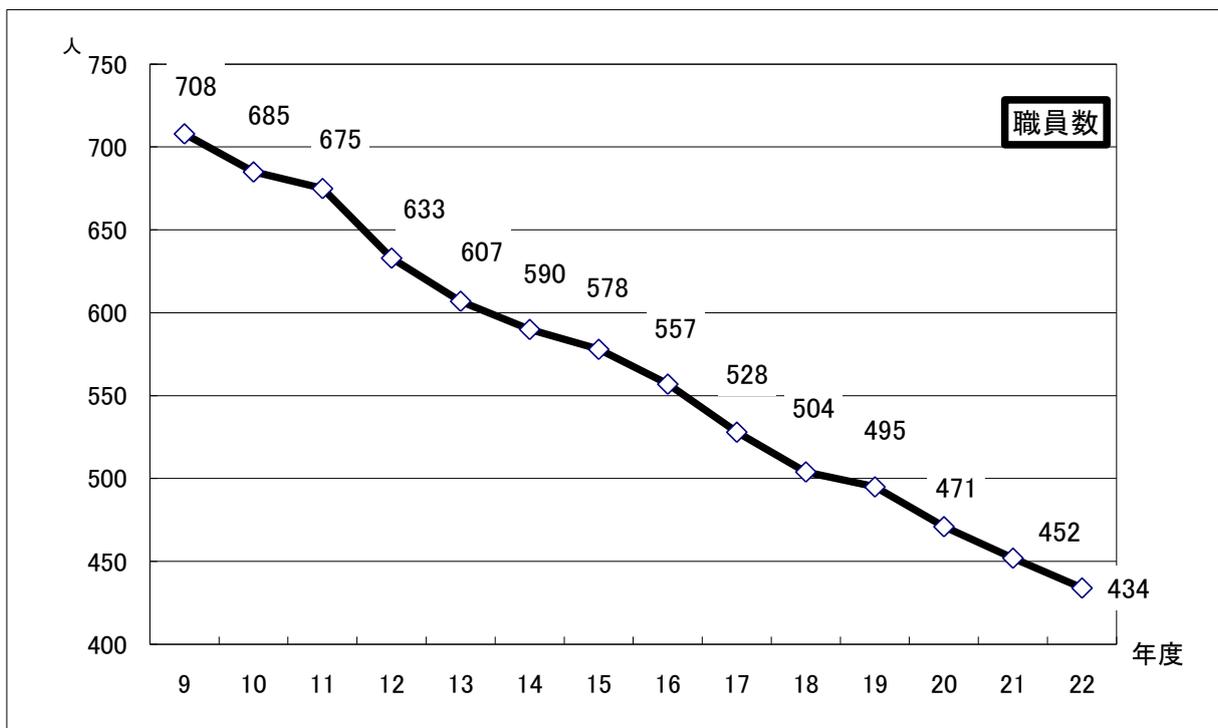


### 人件費の推移



※平成22年度の人件費は当初予算額です。

### 職員数の推移



※職員数は各年度4月1日現在です。

### (5) 市債の借入残高と課題である基金残高の充実

平成21年度は、30億20万円の市債を発行した一方、17億2,376万円の元金を償還しました。市債発行額が元金償還額を上回ったため、市債借入残高は191億4,150万円(対20年度12億7,643万円増)となりました。

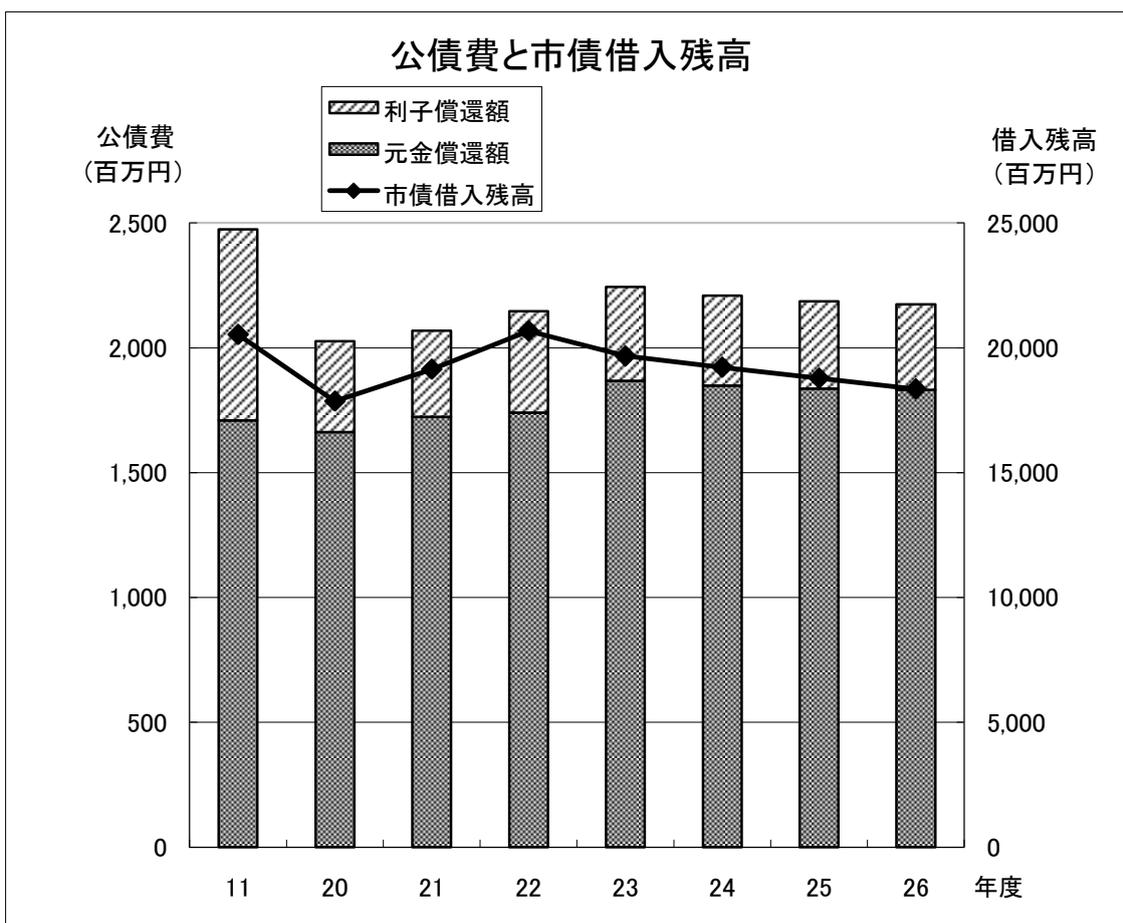
下表は市債借入残高等の見込みです。平成23年度以降は、小中学校校舎の大規模改修のほか一定額の地方債を活用した場合の推計です。

一方、基金残高は、経費削減により生じた不用額を基金に繰入れ(又は繰戻し)た結果、残高を増やすことができました。しかし、他市との比較や、当市の財政規模を考慮すると、依然として残高が少ない状況です。

公債費、市債借入残高等の見込み

(単位:百万円)

	11年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市債発行額	590	1,090	3,000	3,272	1,662	1,400	1,400	1,400
元利合計償還金	2,474	2,026	2,068	2,147	2,244	2,209	2,186	2,174
元金償還額	1,709	1,662	1,724	1,740	1,868	1,849	1,836	1,832
利子償還額	765	364	344	407	376	360	350	342
市債借入残高	20,528	17,865	19,141	20,674	19,668	19,219	18,783	18,351
市民一人当り現在高	308千円	246千円	263千円	284千円	270千円	264千円	258千円	252千円
公債費比率	13.9%	9.8%	9.1%	9.4%	9.4%	9.3%	8.8%	8.2%



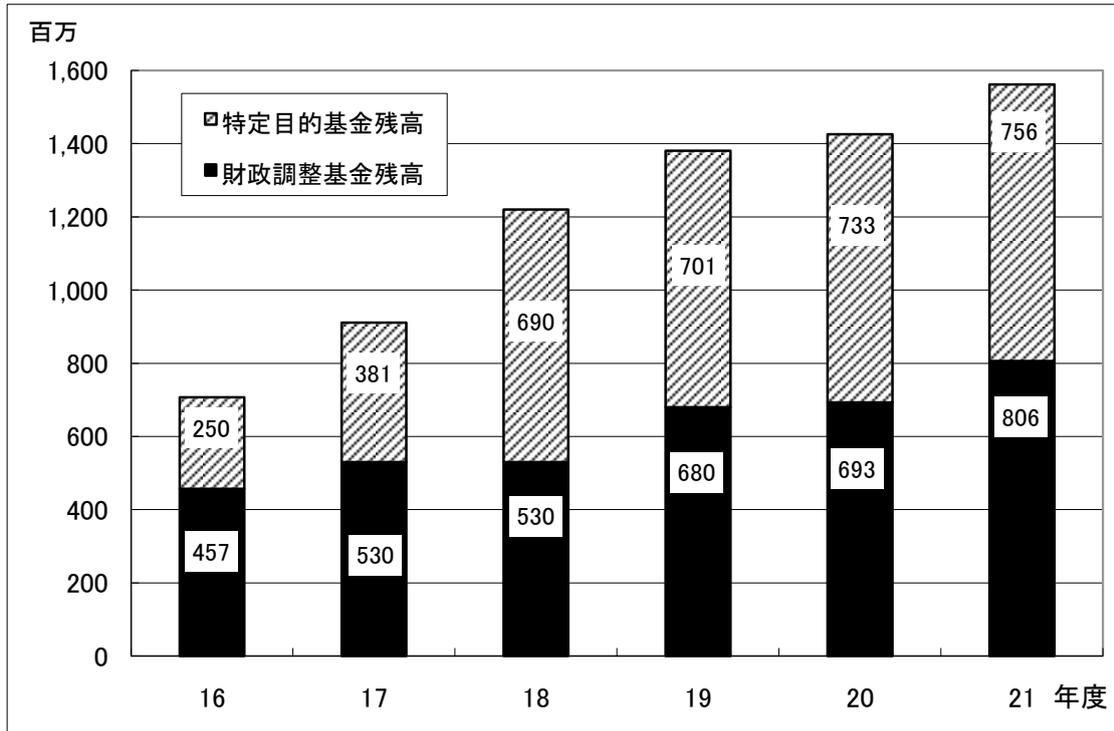
(単位：百万円)

区 分	H20決算	H21決算	H22予算	H23推計	H24推計	H25推計	H26推計	H27推計	H28推計	H29推計
元 利 償 還 金 合 計 (対前年度増減額)	2,026 (20)	2,068 (42)	2,147 (78)	2,244 (97)	2,209 (△ 35)	2,186 (△ 23)	2,174 (△ 12)	2,070 (△ 104)	1,963 (△ 107)	1,892 (△ 71)
うち、元金償還額 (対前年度増減額)	1,662 (54)	1,724 (62)	1,740 (16)	1,868 (128)	1,849 (△ 19)	1,836 (△ 13)	1,832 (△ 4)	1,734 (△ 98)	1,632 (△ 102)	1,563 (△ 69)
公 債 費 比 率	9.8%	9.1%	9.4%	9.4%	9.3%	8.8%	8.2%	6.8%	6.9%	6.0%
一般会計年度末市債現在高 (対21年度増減額)	17,865	19,141	20,674 (1,532)	19,668 (526)	19,219 (77)	18,783 (△ 358)	18,351 (△ 790)	18,017 (△ 1,124)	17,785 (△ 1,356)	17,622 (△ 1,520)
うち、臨財債等の現在高 (対21年度増減額)	8,178	8,664	9,437 (773)	10,144 (1,480)	10,510 (1,846)	10,822 (2,158)	11,101 (2,437)	11,442 (2,778)	11,725 (3,061)	11,949 (3,285)
差引 建設事業債の現在高 (対21年度増減額)	9,687	10,478	11,237 (759)	9,524 (△ 954)	8,708 (△ 1,769)	7,961 (△ 2,516)	7,250 (△ 3,227)	6,575 (△ 3,903)	6,060 (△ 4,418)	5,673 (△ 4,805)
市 債 発 行 額	1,090	3,000	3,272	1,662	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
建設事業債	451	2,007	1,949	362	400	400	400	400	400	400
臨時財政対策債	639	993	1,323	1,300	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
主な起債事業と起債額 (百万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨財債639◆十</li> <li>◆小学校地震補強</li> <li>120◆中小学校体</li> <li>育館地震補強87</li> <li>◆道路整備事業</li> <li>84◆子ども発達</li> <li>支援交流センター</li> <li>90◆東3-4-13号</li> <li>線整備事業65</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東高校跡地購</li> <li>入1,069◆東高校</li> <li>改修57◆清瀬市</li> <li>民センター改修</li> <li>135◆消防ポンプ</li> <li>車14◆下清戸集</li> <li>会所34◆小中</li> <li>校舎地震補強</li> <li>134◆道路整備事</li> <li>業49◆市道0209</li> <li>号線拡張49◆第</li> <li>三セクター出資</li> <li>350◆臨財債993</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆清瀬市民セ</li> <li>ンター改修920◆コ</li> <li>ミュニティプラザ</li> <li>改修69◆消防ポ</li> <li>ンプ車15◆小中</li> <li>学校校舎地震補</li> <li>強225◆三小南校</li> <li>舎建替310◆道路</li> <li>整備60◆第三セ</li> <li>クター出資350◆</li> <li>臨財債1,323</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小中学校校舎</li> <li>大規模改造185◆</li> <li>道路整備59◆市</li> <li>道0209号線築造</li> <li>27◆多摩国体会</li> <li>場整備85◆臨財</li> <li>債1,300</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小中学校校舎</li> <li>大規模改造140◆</li> <li>道路整備59◆消</li> <li>防ポンプ車14◆</li> <li>臨財債1,000</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨財債1,000</li> <li>◆その他400</li> <li>◆大規模改造</li> <li>◆公共施設</li> <li>◆改修・耐震</li> <li>◆道路整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨財債1,000</li> <li>◆その他400</li> <li>◆大規模改造</li> <li>◆公共施設</li> <li>◆改修・耐震</li> <li>◆道路整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨財債1,000</li> <li>◆その他400</li> <li>◆大規模改造</li> <li>◆公共施設</li> <li>◆改修・耐震</li> <li>◆道路整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨財債1,000</li> <li>◆その他400</li> <li>◆大規模改造</li> <li>◆公共施設</li> <li>◆改修・耐震</li> <li>◆道路整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨財債1,000</li> <li>◆その他400</li> <li>◆大規模改造</li> <li>◆公共施設</li> <li>◆改修・耐震</li> <li>◆道路整備等</li> </ul>

### 積立基金の残高の推移(各年度末現在)

(単位:百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
財政調整基金残高	457	530	530	680	693	806
特定目的基金残高	250	381	690	701	733	756
基金残高合計	707	911	1,220	1,381	1,426	1,562



### 積立基金の残高の状況

(単位:千円)

基金名	20年度末 現在高	21年度積立額	21年度取崩額	21年度末 現在高
財政調整基金	692,875	534,845	421,823	805,897
減債基金	25,442	24,781	12,000	38,223
公共用財産の取得及び建設基金	500,609	20,060	19,900	500,769
社会福祉基金	5,721	192		5,913
緑地保全基金	194,744	9,751		204,495
郷土博物館資料収集基金	5,664	31		5,695
ふれあい福祉振興基金	612	1		613
まちづくり応援基金		30		30
合計	1,425,667	589,691	453,723	1,561,635

各市の積立基金現在高一覧(21年度末)

(単位:百万円)

	財政調整基金	その他特目基金	積立基金合計
八王子市	7,012	6,486	13,498
立川市	5,075	5,243	10,318
武蔵野市	6,260	21,903	28,164
三鷹市	3,512	7,361	10,873
青梅市	1,453	9,203	10,656
府中市	4,396	32,946	37,342
昭島市	2,490	2,862	5,352
調布市	4,358	6,838	11,196
町田市	6,405	12,492	18,896
小金井市	2,136	3,065	5,201
小平市	2,686	5,198	7,884
日野市	3,289	9,706	12,995
東村山市	1,387	2,261	3,649
国分寺市	2,210	4,605	6,815
国立市	1,151	2,348	3,499
福生市	1,641	4,561	6,202
狛江市	419	1,140	1,559
東大和市	681	188	870
清瀬市	806	756	1,562
東久留米市	648	1,423	2,072
武蔵村山市	1,046	4,320	5,365
多摩市	1,430	7,477	8,908
稲城市	3,406	6,707	10,113
羽村市	1,643	2,564	4,207
あきる野市	221	1,072	1,292
西東京市	3,387	4,768	8,155
平均	2,660	6,442	9,102

